

# 相原中学校だより

拓け 夢を  
築け 人生の礎を

熟考力（しっかり考える） 実践力（思いや考えを行動に） 意志力（自分に負けない）

## 心が無くなるのは本当に怖い

校長 伊藤 隆一

5月にアメリカ・ミネソタ州で白人警官に首を圧迫された黒人男性のジョージ・フロイドさんが亡くなる事件が起きました。この事件を発端に黒人への暴力に抗議するデモはアメリカ国内だけでなく、世界各地へ広まりました。日本でもデモが行われたり、SNS上に投稿が数多く寄せられたりしました。その中で、プロ野球チーム「東北楽天ゴールデンイーグルス」のオコエ瑠偉選手が自身の体験を綴ったことが大きな反響を呼びました。

まず、俺は誰も責める気はない。文句を言う気もない。世界的にこういう状況で俺自身の体験を知りたいというメッセージの多さ、おんなじ境遇の人、又その両親の少しでも励みになればと思い、炎上覚悟で投稿します。ただ自分の物凄く嫌だった過去をさらけだします。

まず最初に言いたいことが、これが差別だとかどうとかそんなのは本当にどうでもいい話。この話は俺自身の体験であって、これをみてる大半の人には当てはまらないからこういう人もいるんだな〜くらいで大丈夫です。

俺が5歳くらいの頃かな。

まず、保育園で思い知らされた。

醜いアヒルの子の絵本を先生が読んでた。周りのみんなは先生が読んでる間、俺をジロジロ見ながら笑ってくる。俺はもちろんのようにうつむき耳を塞いでた。物凄く孤独だった。先生は悪気ないし、しょーがないよね。俺が周りとは違うと初めて認識させられた出来事だった。

これも保育園の時の話。ある日、親の似顔絵を描く時があった。先生は言った。親の顔は肌色で塗りましょう。その時保育園にあった、肌色のクレヨンの色はだいたい色だった。

でも、俺はその時の反抗心からか涙ながら、茶色のクレヨンを取り親の顔を書いた。出来上がった後はもちろん皆んなに笑われた。

なんだろう、この時は毎日が辛すぎた。家のベランダから外を眺めながら、ここから飛び降りて生まれ変わって、普通の日本人になれるかなとか、考えてた。今となっては、この普通とは何なんだろうと未だに考えてる。

小学生になると、近所のおじさんに勧められてなんとなく野球を始めた。

でも、やっぱり入ってすぐ心配してたことが起こった。初めてできた先輩たちは、俺の肌の色をあざ笑いながら、おまえの家では虫とか食うんだろうとか、ここには出せないほどの汚い言葉の数々で罵られ、殴られる。

.....(中略)

心が無くなるのは本当に怖い。

でも、こういう経験があるからこそ、悔いのないように生きようと思うし、良くも悪くも今となってはちょっとやそっとのことじゃ動じなくなった。何より、母親とは話が合わず、唯一心の痛みを分かち合えたのは、妹の桃仁花だった。だからこそ妹は今でも大事な存在。

今後、自分の子供ができて同じ経験をさせないようにするにはどうすればいいのだろう。と考えている人。そういう人たちの共感につながればいいな。

【@LOUISOKOYEMoM よりの一部引用】

平和な日本においても、人種差別を始め、学歴、男女、障害、LGBT、いじめ、新型コロナ陽性者など、理不尽な差別に悩んでいる人がたくさんいます。日本人は「普通」を好みます。でも、「みんな一緒」を大切にあまり、心無くすことはしたくありません。

## 第35回優輝祭

## 轟～相中に響く5つの雷鳴

10月1日（木）に「第35回優輝祭」体育部門を実施します。コロナ禍のため、現在のところ全校で取り組む唯一の行事です。9月には全体練習・学年練習とともに委員会や各係での準備も本格化し、赤、青、黄、橙、緑の5つの色のブロックに分かれた熱い戦いを繰り広げます。

第1回優輝祭は昭和61年に実施されました。この時、創立当時より体育祭・文化祭・合唱祭として行われていた学校行事を一本化しました。「優輝祭」のゆうきは「勇気」であるとともに、校歌の一節にある「優しく 輝く 白亜の塔」を示し、相原中学校を表しています。相原中生が勇気を持って何事にもチャレンジしていくのだという意味を込めて命名されたものです。

（創立30周年記念誌より）

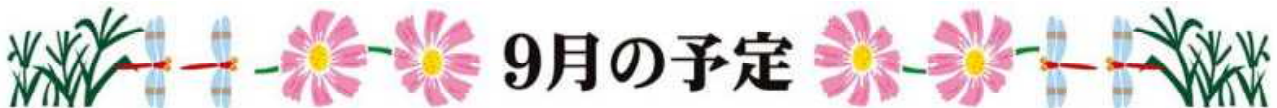
## 「3年生の節目となる場の交流試合」始まる！

陸上競技部が8月29日（土）「3年生の節目となる場の交流試合」（相模原ギオンスタジアム）に臨みました。陸上競技は県大会予選を兼ねているため、特例として通常の大会形式となりました。出場選手は今できるベストを出しました。県大会出場者は次の通りです。

女子 100m	元木 有咲（3の4）
男子 400m	由利 海翔（3の4）
女子 1500m	鈴木 結莉（3の1）
男子 110m ハードル	原 知輝（2の3）
女子砲丸投げ	東海林 宙（2の3）
女子 400m リレー	小俣 美波（3の2） 元木 有咲（3の4） 宮崎 理音（3の2） 後藤 莉咲（3の1）



他にも相模原推薦枠で低学年リレーが男女とも県大会出場を決定しています。県大会は10月3日（土）川崎市等々木陸上競技場で行われます。



8月31日（月）～9月4日（金）いずれかで 緊急地震速報対応訓練	16日（水）生徒会代表議会
1日（火）給食開始	17日（木）避難訓練（火災対応）
2日（水）体育部門全体練習（6h）	18日（金）体育部門予行練習 係別会議、拡大実行委員会
4日（金）体育部門学年練習 （1年5h、2年4h、3年6h）	21日（月）敬老の日
8日（火）内科検診 3年女、1年1～3組女	22日（火）秋分の日
9日（水）内科検診 3年男、1年1～3組男 生徒会専門委員会	24日（木）耳鼻科検診1年＋抽出生徒 学級プログラム委員会
10日（木）体育部門全体練習（5/6h） 係別会議	25日（金）教育相談
11日（金）体育部門学年練習 （1年3/4h、2年1/2h、3年5/6h）	29日（火）内科検診 2年女、1年4～5組女 通知表配付
15日（火）教育相談	30日（水）体育部門前日準備 校納金引き落とし日
	10月1日（木）第35回優輝祭体育部門

※優輝祭体育部門練習は天候により変更となります。